

南中校区学校運営協議会だより

テーマ：『自律』と『共生』

R5. 3月

今年度もあと1ヶ月です。新型コロナウイルスも少し落ち着き、このまま当たり前の日常が戻ることを祈るばかりです。

さて、そうなれば校区CS活動も再スタートです。4月からも情報発信をして参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

昨年の2月、7月に2度計画していたものの、2回ともコロナでやむなく中止とした『あいの子ども・大人・地域について語ろう会』も、ぜひ開催したいと思います。

(話し合う代わりにとらせて頂いたアンケートでは、以下のようなご意見や思いを頂きました。)

◎子どもたちのさまざまな体験や経験が不足しちよると思う。
いろいろなことに挑戦させて、成功や失敗して生まれる自信や自尊感情を育ててやらにゃあ、たくましくならんで！

◎「あいさつ」から始まる人や地域のつながりやコミュニケーションづくりを町をあげて、みんなでしょいや！子どもたちだけのことじゃないけんあ…！

地域の声

◎思いやりの心、関わり合い、助け合い、支え合う心をもった温かい人間に育てちゃらいや！

◎ふる里に愛着と感謝をもち、「南部町」をいつまでも愛し、誇りに思えるような子どもを、じげの大人(おせ)が育てにゃいけんぜ！



地域の願い

◎「CS」のことを広めて、もっと地域に知ってもらわんといけんでないかや！「CSって何だいや？」なことではいけんじええ～！

◎子どもたちとふれあえる機会が減って残念だわ！でも地域が関わることで子どもにも、大人にもWin Winの学びがしたいがな！



「CSって何だろう？」

「聞いたことはあるけど、何をしてるかわからんなあ…。」

「学校のボランティアでしょ！」

など、「活動内容の趣旨」や「取り組みの内容」、「CSの役割や効果」などが、まだまだ十分に認識されていないのが、大きな課題です。

地域の皆様から、児童・生徒の学習や心身の成長をサポートしていただくとともに、子どもたちや学校が、『地域の元気や活力』に役立てるように南部中学校区CS活動を展開していきます！



学校運営協議会の役割とは。。。。

■学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の権限は、以下の大きな3つです。

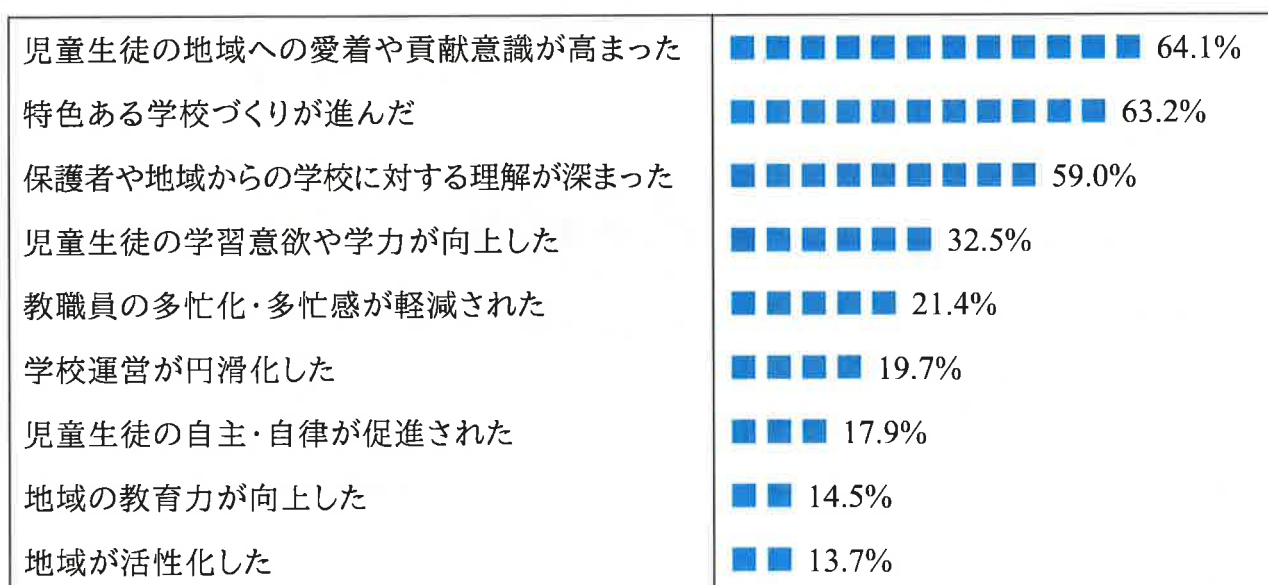
- ①学校運営の基本方針を承認する。
- ②学校運営に関して、意見を述べることができる。
- ③教職員の任用に関して、意見を述べるができる。



学校の教育課程(学校教育の目的や目標を達成するための計画のこと)、組織編成(校内の組織体制や役割分担、人事編成などのこと)、学校予算(教育にかかる費用のこと)、施設管理(施設・設備の充実や修理・修繕、危機管理などのこと)などについて、現状や課題、将来への展望を「分析・熟慮」と「協議・議論」を重ねながら、課題解決をめざしていきます。

学校だけではなく、地域住民が参画することによって、より教育の質と効果が上がるのがねらいです。(学校と地域で明確な目標や目的が共有され、効果的な手段の幅が広がり、学校教育と地域(ふるさと)教育とが密着して行えるメリットがあります。…下のグラフ参照)

■地域と学校が連携して行っている取り組みの効果(鳥取県:令和3年3月調査)



■南部中学校、会見小学校、会見第二小学校の『校区学校運営協議会』では、

- 「どんな子どもたちに育ててほしいのか？」
- そのためには、「地域の大人はどのように協力や支援ができるのか？」
- それによって、「地域にどのような元気と活気が出るか？」

を「熟議(熟慮と議論)」しながら、各小中学校の「CS委員会」で子どもたちと大人の具体的な「協働活動(学習)」を進めていきます。

「南部町コミュニティ・スクール」に、ご理解とご協力をよろしくお願いします。